

令和元年度(平成30年度実施事業分)事務事業評価各課総括表・2次評価表

2次評価者

総務部財政課

総務部長 山本 卓美

整理No	事務事業名	3か 年実 施計 画	事業の評価・課題		今後の事業の方向性	
			自己 評価	評価内容	方向性	内容
06-001	財政管理事務	なし	A	償還計画に基づく償還及び事業内容を精査することで起債発行額の抑制を図り、その結果、目標削減額42.9億円から1.3億円を上回る44.2億円の債務削減となった。	現状維持	引き続き財政規律を遵守し、基金の活用や起債の発行抑制及び償還期限の短縮などにより、今後控える大規模な公共施設の更新等に備え、計画的に債務削減に取り組んでいく。
06-006	自動車等管理事業	なし	C	ハイブリッド車の利用比率の上昇等の理由により、燃料1L当たりの平均走行距離は年々のびてきており、平成30年度は11.5km/Lとほぼ目標値を達成できた。それとともに、共用自動車1台あたりの燃料使用量も燃費の向上等により減少している。 ただし、燃料単価の増額により年間使用燃料費が増額となり、共用自動車1台あたりの年間維持修繕管理費についても増加した。	現状維持	老朽車両の更新時、市販車の中でも特に低燃費、低排出ガスの車両を選択して導入していく。それ以外にも、市外出張にはハイブリッド車を優先的に使用することを職員に呼びかけ、さらに利用率を上げることで、より環境に配慮した運用を行う。 また、運転時のエコドライブ実践に係る職員への呼びかけや、車両の不具合の早期発見、早期対応を推進すること等で燃費の悪化を防ぎ、成果指標の達成に努める。
課等長	1次評価(30年度の総括評価)					
B	財産管理事務については、計画的な借入額の償還に努め、また、新たな借入れについては、財政状況等を考慮し、必要最低額の借入としたことにより、目標を達成することができた。今後も健全な財政運営を目指すため、適切な地方債の借入れに努める。 自動車等管理事業については、目標値を達成することはできなかったが、車両更新の際に環境に配慮した車両の購入や低公害車の利用促進等の効果により、燃費効率が対前年度から0.5ポイント向上した。引き続き、低公害車の利用促進及びエコドライブの実践等に努め、目標値達成を図る。					
部等長	2次評価(30年度の総括評価並びに今後の方針及び指示事項)					
B	財産管理事務については、目標値を上回る起債残高の削減ができたが、今後予定される公共施設の更新、新病院建設などに多額の費用が必要となることから、更なる債務削減を求めたい。 共用自動車の運用経費の効率化については、目標値の達成には至らなかった。今後とも、更なる低燃費車の利用促進及びエコドライブの実践を全職員に意識づけていく必要がある。					